

令和 8 年度通常総会

日 時 令和 8 年 5 月 1 8 日（月）午後 3 時～
会 場 城山ホテル鹿児島 クリスタルガーデン

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

令和８年度 公益社団法人鹿児島県工業倶楽部通常総会 次第

１ 開会

２ 会長挨拶

３ 来賓挨拶

４ 成立宣言

５ 議長選出

６ 議 事

（１）議事録署名人選出

（２）議案

第１号議案 令和７年度事業報告及び決算の承認について（案）

（監 査 報 告）

第２号議案 役員の改選について（案）

７ 報告事項

令和８年度事業計画及び予算について

８ 閉会

（休 憩）

◇ 講演会

講 演 「高利益を生み続けるキーエンスの営業スタイルとは」

講 師 （元キーエンス）株式会社カクシン

取締役ＣＲＯ／エバンジェリスト 天野 眞也 氏

◇ プレゼンテーション

「シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 鹿児島工場ＰＲ」

◇ 交流パーティ

【第1号議案】 令和7年度事業報告及び決算について(案)

〔事業報告〕

世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化やイスラエル、米国とイランとの紛争など、国際情勢の不安定化を背景に、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、物流網の混乱、為替変動などの影響を受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。加えて、各国の金融政策やサプライチェーン再編の動きは、企業の設備投資や貿易活動にも影響を及ぼしております。

我が国においては、輸入コスト上昇に伴う物価高、人手不足の深刻化、賃金上昇への対応、資材価格高騰などが企業経営に大きな課題となっております。とりわけ中小企業においては、価格転嫁や人材確保、生産性向上への対応が急務となっております。一方で、半導体産業の国内投資拡大、GX・DX分野への成長投資、インバウンド需要の回復など、新たな成長機会も広がっております。

九州地域では、熊本を中心とした半導体関連産業の集積、広域物流機能の強化、再生可能エネルギー関連投資などにより、地域経済の活性化が期待されております。その一方で、製造コスト上昇、人材不足、産業集積効果の広域波及、交通ネットワーク強化などが今後の重要な課題となっております。

鹿児島県においては、人口減少や若年層流出、人材不足に加え、物価上昇や資材費高騰による地域企業への負担増、自然災害への備えなど多面的な課題に直面しております。しかしながら、本県は農林水産業、食品関連産業、観光資源、再生可能エネルギー、宇宙関連産業など全国に誇る地域資源を有しており、これらを活かした新たな産業振興と地域活性化が期待されております。

このような情勢を踏まえ、鹿児島県工業倶楽部は、第一に、県内企業の競争力強化を図るため、AI・IoTプラザ、地区プラザ、各種セミナー等を通じて、DX・GX推進、省力化、生産性向上、知的財産活用など経営革新への支援を進めてまいります。第二に、新事業創出と産業連携の促進を図るため、ベンチャープラザ鹿児島「二水会」、異業種交流会、工場視察、新年大会等を開催し、会員企業相互の連携強化、販路開拓、情報共有、人脈形成の機会を創出してまいります。第三に、地域社会の持続的発展と次代を担う人材育成のため、鹿児島大学との包括連携による「食と健康に関するシンポジウム」、鹿児島大学工業倶楽部賞、教育機関との連携事業等を通じて、産学官協働による地域振興と人材育成に取り組んでまいります。

本倶楽部は、会員企業並びに関係機関との連携を一層深め、鹿児島県産業の持続的発展と地域経済の活性化に寄与してまいります。

[主要事業]

1 理事会

- (1) 令和6年度決算に係る監事監査(5/1)
- (2) 第1回正副会長会及び理事会の開催(5/12)
 - ① 事務局長の交代について
 - ② 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)、資金調達及び設備投資(案)について
 - ③ 令和6年度事業報告(案)及び決算(案)について
 - ④ 入会の承認について
 - ⑤ 令和7年度通常総会資料について
- (3) 第2回正副会長会を開催(7/15)
- (4) 第3回正副会長会及び第2回理事会を開催(10/27)
 - ① 専務理事の選任及び事務局人事について
 - ② 規程の変更について(工業倶楽部入会、退会及び会費に関する規程)
 - ③ 入会の承認について
 - ④ 一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会への加入について
 - ⑤ 新年大会について
 - ⑥ 「第15回食と健康に関するシンポジウム」について
- (5) 第4回正副会長会及び第3回理事会を開催(3/24)
 - ① 入会の承認について
 - ② 令和8年度事業計画(案)、収支予算(案)、資金調達及び設備投資の見込み(案)について
 - ③ 令和8年度通常総会について
 - ④ 役員改選について
 - ⑤ 事務局長と専務理事の退任について

2 総会(5/30) 城山ホテル鹿児島

- (1) 令和6年度事業報告及び決算の承認について
- (2) 令和7年度事業計画及び予算について
- (3) 講演会
演題「全社員の幸せを願って ～新日本科学の人材育成～」
講師 株式会社新日本科学 代表取締役会長兼社長 永田 良一氏
- (4) プレゼンテーション
「半導体プロジェクトプラザ起ち上げ」
(公社)鹿児島県工業倶楽部理事 嶋原 広高((株)システムビジョン 代表取締役)

3 第15回食と健康に関するシンポジウム

テーマ「かごしま茶のチカラ ～地域から広がる健康価値～」

【日時】 令和7年11月26日(水) 13:30～16:35

【場所】 鹿児島大学 稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホール

【主催】 (公社)鹿児島県工業倶楽部、鹿児島大学南九州・南西諸島域イノベーションセンター

【内容】

- 講演1 「お口の健康習慣を考える ～お茶と行動科学の応用～」
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 健康科学専攻 社会・行動医学講座
准教授 平間 雅博 氏
- 講演2 「緑茶カテキンのちから ～筋肉を活性化して健康生活～」
鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻 基礎理学療法学講座
教授 榊間 春利 氏
- 講演3 「世界に届ける、かごしまの抹茶 ～新たな栽培・加工技術で輸出拡大に挑戦～」
鹿児島県農業開発総合センター 茶業部 部長 内村 浩二 氏
- 特別企画 ～腸から元気に！ 今日からできる腸活のヒント～
「大腸の健康維持をサポート ～ラクトバチルスプラシタムで整える腸内環境～」
工業倶楽部 会長（カクイ株式会社 代表取締役社長） 岩元 正孝 氏
- ポスターセッション 5社

【参加人数】 113 名

【後援】 九州経済産業局、鹿児島県、(独)中小企業基盤整備機構南九州事務局、
(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島市、南日本新聞社、NHK 鹿児島
放送局、MBC、KTS、KKB、KYT

4 第 88 回、89 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

新商品・サービス等の展開に当たって、業務提携先や販売先の確保、資金面のサポートなどの橋渡しの場を提供し、企業発展をサポートする。

■第 88 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

【日時】 令和 7 年 11 月 12 日（水）15:00～19:30

【場所】 ホテルレクストン鹿児島 2F サルビア

【主催】 (公財) かごしま産業支援センター、(公社)鹿児島県工業倶楽部、(一社)九州
ニュービジネス協議会

【ビジネスプラン発表】

- ① 株式会社藤田ワークス【霧島市】
自社ブランド【Metal Fusion】の販路拡大
- ② 株式会社ウッドバンク【鹿児島市】
木材の天然乾燥自動化システムによる鹿児島材ブランド化への挑戦
- ③ 株式会社カシスト【鹿児島市】
～現場にも理想の上司をスマホの中に～ “特許出願済みの職人教育 DX”

【参加人数】 82 名

■第 89 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

【日時】 令和 8 年 2 月 12 日（木）15:00～19:30

【場所】 ホテルレクストン鹿児島 2F サルビア

【主催】 (公財) かごしま産業支援センター、(公社) 鹿児島県工業倶楽部、

(一社)九州ニュービジネス協議会

【ビジネスプラン発表】

- ① 株式会社 WISH システムコンサルティング【鹿児島市】
デジタル証明書で信頼を可視化 ～「ショメル」が拓く次世代インフラ～
- ② 株式会社エヴォルト【鹿児島市】
社労士連携で実現 ～人的資本経営時代の「辞めない職場」予防モデル～
- ③ 株式会社 Eco-Pork【東京都・鹿児島拠点/曾於市】
鹿児島から世界へ羽ばたく養豚 DX～更なる県内連携へ向けて～

【参加人数】 81 名

5 プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会等を開催し、講演、情報交換などを実施。

プラザ、研究会、部会、委員会の実績は別紙のとおり。

6 会報の発行

- ① 第 76 号 (2025 年 7 月)
(内容) 総会・講演会、鹿児島大学新学長紹介、新会員紹介、発明協会紹介、セミナー報告 (AI・IoT・DX プラザ活動報告・かごしま半導体プロジェクトプラザ新設報告)
- ② 第 77 号 (2026 年 3 月)
(内容) 新年大会、令和 7 年度地方発明表彰受賞者、各種活動 (第 15 回食と健康に関するシンポジウム、二水会、プラザ活動等)、新会員紹介

7 その他関連事業

- (1) 鹿児島大学との連携 (工業倶楽部と鹿児島大学は包括連携協定締結)
 - 食と健康に関するシンポジウム (再掲)
 - 大学地域コンソーシアム鹿児島 地域連携・就業部会、地域留学生交流推進部会
 - 鹿児島大学工業倶楽部賞 (令和 7 年度 2 名)
 - 小瀬 日奈子 様 (理工学研究科 理学専攻 2 年)
「鹿児島県産薬用植物由来の COVID-19 治療薬シーズの創出」
 - 江寄 真南 様 (共同獣医学研究科 獣医学専攻獣医科学コース 4 年)
「鹿児島県出水平野の希少ツル類保全と家畜防疫に寄与する感染症研究」
- (2) 県教育庁との連携 (インターンシップ事業講師派遣)
 - 「未来を拓くキャリア教育推進事業」
 - ① 小中学校への会員企業 (登録) による講師派遣
登録会員数 7 会員
 - ② インターンシップ受け入れ企業
登録会員数 7 会員

(3) NPO法人鹿児島デザイン協会との連携

「かごしまデザインフェア 2026 デザイン百覧会」

【日時】 令和8年2月20日(金)～2月22日(日)

【場所】 カクイックス交流センター(かごしま県民交流センター)2階大ホール

◇ 活 動 実 施 状 況

実施時期	実 施 内 容
令和7年 4月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
25日	AI・IoT プラザ「補助金セミナー」を開催 ・鹿児島県 中小企業支援課、産業立地課 ・公益財団法人かごしま産業支援センター 産業振興課、産学官連携課
5月12日	令和7年度第1回理事会開催
14日	八日会を開催し、情報交換を実施
26日	AI・IoT プラザ「レーザーマーカ&レーザークリーニングセミナー展示会」を開催 ・パナソニックインダストリー株式会社 ・株式会社光響
30日	令和7年度通常総会を城山ホテル鹿児島で開催 令和6年度の事業報告及び収支決算、並びに令和7年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決された。 ・講演 「全社員の幸せを願って ～新日本科学の人材育成」 株式会社新日本科学 代表取締役会長兼社長 永田 良一氏 ・プレゼンテーション 「半導体プロジェクトプラザ起ち上げ」 株式会社システムビジョン 代表取締役 嶋原 広高氏
6月11日	八日会を開催し、情報交換を実施
26日	川薩地区プラザを開催し、「デジタル社会で、企業が生き残るために～数理・データサイエンスと統計、EBPM と因果推論で、急速な変化をつかみ企業経営へ活用～」と題してMINE 代表の黒木美奈子氏が講演
27日	AI・IoT プラザ「3D プリンター・3D スキャナーセミナー&展示会」を開催 株式会社はやま代表取締役の羽山貴章氏が3D プリンター・3D スキャナーに関する最新技術や機器類の導入事例について講演。講演終了後は展示会を実施
7月11日	八日会を開催し、情報交換を実施
23日	川薩地区プラザを開催し、「デジタル社会で、企業が生き残るために～近い将来、即戦力のDX人材となりうる高校生全員が学ぶ情報 プログラミングでできること・デジタル社会で企業が生き残るために、今何をするべきか～」と題してMINE 代表の黒木美奈子氏が講演
8月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
9月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
12日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施 「異業種の人と話してみたい、新しい視点やアイデアが欲しい、起業・新規開拓・地域ビジネスに関心がある、人脈をひろげたい、つながりを作りたい」方々を対象に、自社PR もできるオンライン異業種交流会を実施（オンライン限定）
26日	AI・IoT プラザ「IoT タッチパネルセミナー」を開催 パナソニックインダストリー株式会社様をお招きし、「最新HMI の展示・紹介、現場のIoT 化や見える化」をテーマに講演と情報交換を実施。参加者持参のPC を使った「制作用シミュレーションソフト」の操作体験
10月7日	八日会を開催し、情報交換を実施

実施時期	実 施 内 容
10月10日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施 「異業種の人と話してみたい、新しい視点やアイデアが欲しい、起業・新規開拓・地域ビジネスに関心がある、人脈をひろげたい、つながりを作りたい」方々を対象に、自社PRもできるオンライン異業種交流会を実施（オンライン限定）
23日	AI・IoT プラザ「レーザーマーカ&レーザークリーニングセミナー展示会」を開催 ・有限会社クリエイティブ九州 ・株式会社光響
27日	令和7年度第2回理事会、県議会産業経済委員会、県商工労働水産部との合同懇談会開催
28日	AI・IoT プラザ「SMC 制御機器展」を開催 「CO ₂ 削減機器と工場の省エネ対策」と題して、SMC 株式会社南九州事務所の深町所長がCO ₂ 削減への取り組み、省エネ・省エアシステム導入事例、工場のエネルギー効率改善のポイントについての講演とデモパネル紹介を実施 (協力：株式会社興電舎商事)
11月5日	八日会を開催し、情報交換を実施
6日	令和7年度 九州工業団体事務局連絡会議（長崎県）
7日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施 「異業種の人と話してみたい、新しい視点やアイデアが欲しい、起業・新規開拓・地域ビジネスに関心がある、人脈をひろげたい、つながりを作りたい」方々を対象に、自社PRもできるオンライン異業種交流会を実施（オンライン限定）
12日	「第88回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員企業の(株)ウッドバンク、(株)カシスト、(株)藤田ワークスが発表（((公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会、(公社)鹿児島県工業倶楽部が主催）
26日	「第15回食と健康に関するシンポジウム」を鹿児島大学稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホールで開催 「～かごしま茶のチカラ：地域から広がる健康価値～」をメインテーマとして講演会を開催 講演1 「お口の健康習慣を考える ～お茶と行動科学の応用～」 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 健康科学専攻 社会・行動医学講座 准教授 平間 雅博氏 講演2 「緑茶カテキンのちから ～筋肉を活性化して健康生活～」 鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻 基礎理学療法学講座 教授 榊間 春利氏 講演3 「世界に届ける、かごしまの抹茶～新たな栽培・加工技術で輸出拡大に挑戦～」 鹿児島県農業開発総合センター 茶業部 部長 内村 浩二氏 特別企画 ～腸から元気に！ 今日からできる腸活のヒント～ 「大腸の健康維持をサポート ～ラクトバチルスプラシタムで整える腸内環境～」 (公社)鹿児島県工業倶楽部 会長・カクイ株式会社 代表取締役社長 岩元 正孝氏 ポスターセッション 5社（公益社団法人鹿児島県茶業会議所・有限会社クリエイティブ九州・ホスピリティクロージング・NPO 法人マンガプロジェクト鹿児島・株式会社南日本フーズ）

実施時期	実 施 内 容
11月27日	川薩地区プラザを開催し、「イノベーションを通じた持続可能な成長の実現」と題して九州経済産業局産業経済部産業技術革新課の真木農課長による講演と、INPIT 鹿児島県知財総合支援窓口窓口支援担当者の工野茂樹氏による鹿児島県知財総合支援窓口の紹介を実施
12月8日	八日会を開催し、情報交換を実施
12月	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施 「異業種の人と話してみたい、新しい視点やアイデアが欲しい、起業・新規開拓・地域ビジネスに関心がある、人脈をひろげたい、つながりを作りたい」方々を対象に、自社PR もできるオンライン異業種交流会を実施（オンライン限定）
1月 9日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施 「異業種の人と話してみたい、新しい視点やアイデアが欲しい、起業・新規開拓・地域ビジネスに関心がある、人脈をひろげたい、つながりを作りたい」方々を対象に、自社PR もできるオンライン異業種交流会を実施（オンライン限定）
14日	八日会を開催し、情報交換を実施
28日	令和8年新年大会を城山ホテル鹿児島「クリスタルガーデン」で開催 ・講演1 「ASEAN 主要国の産業政策と企業によるサプライチェーン対応」 独立行政法人日本貿易振興機構 調査部 アジア大洋州課 課長 藤江 秀樹氏 ・講演2 「VFR 観光と地域づくり～観光と暮らしの接点を活かす～」 株式会社アイロード 代表取締役 福永 栄子氏 ・プレゼンテーション 公益財団法人 鹿児島県移植医療アイバンク推進協会 事務局長 米山 高兆氏 ((公社)鹿児島県工業倶楽部 理事) コーディネーター 前平 知子氏
2月 9日	八日会を開催し、情報交換を実施
12日	「第89回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、(株)WISH システムコンサルティング、(株)エヴォルーツ、(株)Eco-Pork が発表 ((公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会、(公社)鹿児島県工業倶楽部が主催)
13日	工場見学日帰りツアー「～レクサス工場（トヨタ自動車九州宮田工場）・安川電機ロボット工場～視察（福岡県）」を開催
20日 ～22日	「かごしまデザインフェア2026 デザイン百覧会」 NPO法人鹿児島デザイン協会、鹿児島県と連携して県民交流センターで開催
26日	川薩地区プラザを開催し、「技術だけでは勝てない地方製造業のための知財戦略～強みを守り、強みで稼ぎ、競争力に変える～」と題して、Aurum IP 戦略事業所 弁理士・博士（経済学）高橋省吾氏と、「知財を活用して会社の競争力を高めるには」と題して INPIT 鹿児島県知財総合支援窓口の窓口支援担当者、工野茂樹氏が講演 ・コーディネーター 鹿児島県 知的財産活用推進委員 脇岡 奏昭氏
3月11日	八日会を開催し、情報交換を実施
24日	令和7年度正副会長会・第3回理事会を開催
25日	鹿児島大学卒業式（鹿児島大学工業倶楽部賞を授与）

◇各 種 会 合 等 一 覧 表

月	総会・理事会 正副会長会	委 員 会 等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
令和 7年 4月	正副会長会		八日会、AI・IoT プラザ	3
5	正副会長会 理事会 総会		八日会、AI・IoT プラザ	5
6		特命委員会	八日会、川薩地区プラザ、AI・IoT プラザ	4
7	正副会長会	総務・広報委員会 特命委員会	八日会、川薩地区プラザ	5
8			八日会	1
9		特命委員会	八日会、オンライン異業種交流会、AI・IoT プラザ	4
10	正副会長会 理事会	渉外委員会	八日会、オンライン異業種交流会、AI・IoT プラザ（2回）	7
11		特命委員会	八日会、令和8年度九州各県工業団体事務局連絡会議、オンライン異業種交流会、第88回ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、「第15回食と健康に関するシンポジウム」、川薩地区プラザ	7
12			八日会、オンライン異業種交流会	2
令和 8年 1月		渉外委員会	オンライン異業種交流会、八日会、新年大会	4
2		特命委員会 事業委員会	八日会、第89回ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、工場見学日帰りツアー、川薩地区プラザ	6
3	正副会長会 理事会	総務・広報委員会	八日会	4

◇ 各委員会活動実績

委員会名	活動日時	内 容	場 所
総務・広報委員会	7 月	会報N o. 7 6 号を作成・発送	鹿児島県林業会館
	3 月	会報N o. 7 7 号を作成・発送	鹿児島県林業会館
渉外委員会	10 月 27 日	県議会産業経済委員会、県商工労働水産部、工業倶楽部の合同懇談会を開催	ホテル中原別荘
	1 月 28 日	新年大会において交流パーティを開催	城山ホテル鹿児島
特命委員会	6 月 30 日	食と健康に関するシンポジウム 第 1 回 打合せ	鹿児島大学
	7 月 23 日	食と健康に関するシンポジウム 第 2 回 打合せ	鹿児島大学
	9 月 8 日	食と健康に関するシンポジウム 第 3 回 打合せ	鹿児島県林業会館
	11 月 26 日	第 1 5 回食と健康に関するシンポジウムを開催	鹿児島大学
	2 月 2 日	食と健康に関するシンポジウム 来期打合せ	鹿児島大学
事業委員会	2 月 13 日	工場見学日帰りツアー「～レクサス工場（トヨタ自動車九州宮田工場）・安川電機ロボット工場～視察（福岡県）」を開催	トヨタ自動車九州(株) 宮田工場 (株)安川電機

◇ 地区プラザ活動実績

プラザ名	活動日時	内 容	場 所
川薩地区プラザ	6月26日	講演「デジタル社会で、企業が生き残るために～数理・データサイエンスと統計、EBPM と因果推論で、急速な変化をつかみ、企業経営へ活用～」 講師 MINE 代表 黒木 美奈子氏	川内ホテル
川薩地区プラザ	7月23日	講演「デジタル社会で、企業が生き残るために～デジタル社会で企業が生き残るために、今何をするべきか～」 講師 MINE 代表 黒木 美奈子氏	川内ホテル
川薩地区プラザ	11月27日	講演「イノベーションを通じた持続可能な成長の実現」 講師 九州経済産業局 産業経済部 産業技術革新課課長 真木 農氏 講演「鹿児島県知財総合支援窓口の紹介」 INPIT 鹿児島県知財総合支援窓口 窓口支援担当者 工野 茂樹氏	川内ホテル
川薩地区プラザ	2月26日	講演「技術だけでは勝てない地方製造業のための知財戦略～強みを守り、強みで稼ぎ、競争力に変える～」 Aurum IP 戦略事業所 弁理士・博士（経済学） 高橋 省吾氏 講演「知財を活用して会社の競争力を高めるには」 INPIT 鹿児島県知財総合支援窓口 窓口支援担当者 工野 茂樹氏 コーディネーター 鹿児島県 知的財産活用推進委員 肱岡 奏昭氏	川内ホテル

◇ プラザ活動実績

プラザ名	活動日時	内 容	場 所
八 日 会	4 月 8 日	近況報告、情報交換	ホテルレクストン
	5 月 14 日	近況報告、情報交換	や 台 ず し
	6 月 11 日	近況報告、情報交換	シェラトンホテル
	7 月 11 日	近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	8 月 8 日	近況報告、情報交換	うなぎのふじ井
	9 月 8 日	近況報告、情報交換	鉄板処清たき
	10 月 7 日	近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	11 月 5 日	近況報告、情報交換	薪窯とワイン Sante
	12 月 8 日	近況報告、情報交換	鉄板処清たき
	1 月 14 日	近況報告、情報交換	シェラトンホテル
	2 月 9 日	近況報告、情報交換	シェラトンホテル
	3 月 11 日	近況報告、情報交換	シェラトンホテル

プラザ名	活動日時	内 容	場 所
A I ・ I o T プ ラ ザ	4 月 25 日	講演：「補助金セミナー」 講師：(公財) かがしま産業支援センター ・鹿児島県 中小企業支援課、産業立地課 ・公益財団法人かがしま産業支援センター産業振興課、産学官連携課	マークメイザン
	5 月 26 日	講演：「レーザーマーカ&レーザークリーニングセミナー展示会」 講師：パナソニックインダストリー株式会社 株式会社光響	マークメイザン
	6 月 27 日	講演：「3Dプリンター・3Dスキャナーセミナー&展示会」 講師：株式会社はやま 代表取締役 羽山 貴章氏 リコージャパン株式会社	マークメイザン
	9 月 26 日	講演：IoT タッチパネルセミナー 「最新 HMI の展示・紹介、現場の IoT 化や見える化」 講師：パナソニックインダストリー株式会社 ※参加者持参の PC を使った「制作用シミュレーションソフト」の操作体験も同時開催	マークメイザン
	10 月 23 日	講演：「レーザークリーニングセミナー展示会」 (有限会社クリエイティブ九州)	マークメイザン
	10 月 28 日	SMC 制御機器展 講演：「CO ₂ 削減機器と工場の省エネ対策」 講師：SMC 株式会社 南九州事務所 深町所長 (協力：株式会社興電舎商事)	マークメイザン

◇ その他活動実績

プラザ名	活動日時	内 容	実施方法
オンライン異業種交流会	9 月 12 日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施 「異業種の人と話してみたい、新しい視点やアイデアが欲しい、起業・新規開拓・地域ビジネスに関心がある、人脈をひろげたい、つながりを作りたい」方々を対象に、自社PRもできるオンライン異業種交流会を実施（オンライン限定）	ZOOM
	10 月 10 日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施	ZOOM
	11 月 7 日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施	ZOOM
	12 月 12 日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施	ZOOM
	1 月 9 日	オンライン異業種交流会（ZOOM）を実施	ZOOM

(1-1) 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,827,753	2,720,059	3,107,694
未収金	236,581	6,034,696	△ 5,798,115
未収消費税	0	307,700	△ 307,700
流動資産合計	6,064,334	9,062,455	△ 2,998,121
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,270,000	9,760,000	510,000
基本財産合計	10,270,000	9,760,000	510,000
(2) 特定資産			
部会・プラザ等活動活性化促進資金	0	677,849	△ 677,849
特定資産合計	0	677,849	△ 677,849
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,801	72,801	0
固定資産合計	10,342,801	10,510,650	△ 167,849
資産合計	16,407,135	19,573,105	△ 3,165,970
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	3,500,000	△ 3,500,000
未払金	80,679	196,807	△ 116,128
預り金	36,060	183,946	△ 147,886
前受会費	0	0	0
未払消費税等	12,400	0	12,400
流動負債合計	129,139	3,880,753	△ 3,751,614
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	129,139	3,880,753	△ 3,751,614
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	16,277,996	15,692,352	585,644
(うち基本財産への充当額)	(10,270,000)	(9,760,000)	(510,000)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(677,849)	(△677,849)
一般正味財産合計	16,277,996	15,692,352	585,644
正味財産合計	16,277,996	15,692,352	585,644
負債及び正味財産合計	16,407,135	19,573,105	△ 3,165,970

(2-1) 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産利息収入	19,703	2,230	17,473
② 特定資産運用益			
特定資産利息収入	1,325	356	969
③ 受取入会金			
入会金	510,000	240,000	270,000
④ 受取会費	9,614,250	9,482,500	131,750
正会員	8,214,250	8,082,500	131,750
10,000円×27会員	270,000	340,000	△ 70,000
30,000円×40会員	1,200,000	1,050,000	150,000
55,000円×11会員	605,000	770,000	△ 165,000
80,000円×32会員	2,560,000	2,720,000	△ 160,000
105,000円×12会員	1,260,000	1,260,000	0
130,000円×5会員	650,000	650,000	0
155,000円×7会員	1,085,000	1,240,000	△ 155,000
新規会員×26会員	584,250	52,500	531,750
計160会員			
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金	200,000	200,000	0
令和7年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0
⑥ 受取負担金	711,500	665,500	46,000
総会懇談会負担金	357,500	352,000	5,500
新年大会懇談会負担金	354,000	313,500	40,500
⑦ 事業収入	0	8,168,906	△ 8,168,906
【九州経済産業局】中小企業等知的財産活動支援事業	0	5,932,196	△ 5,932,196
【鹿児島県】県内中小企業人材育成支援事業	0	1,436,710	△ 1,436,710
【(一社)鹿児島県発明協会】業務委託料	0	800,000	△ 800,000
⑧ 受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000
カクイ株式会社	1,000,000	0	1,000,000
⑨ 雑収益	296,950	43,440	253,510
経常収益計	12,353,728	18,802,932	△ 6,449,204

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年	度 前 年	度 増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	2,403,829	4,385,067	△ 1,981,238
給 料 手 当	0	0	0
賃 利 厚 生 費	0	0	0
福 利 彰 費	0	3,686	△ 3,686
表 託 費	19,800	20,680	△ 880
委 託 費	0	842,050	△ 842,050
旅 費 交 通 費	232,310	98,020	134,290
通 信 運 搬 費	216,441	96,427	120,014
消 耗 品 費	1,320	19,411	△ 18,091
印 刷 製 本 費	18,830	571,590	△ 552,760
会 議 費	944,761	877,358	67,403
諸 謝 金	60,000	319,000	△ 259,000
賃 借 料	505,650	793,140	△ 287,490
支 払 負 担 金	224,000	234,000	△ 10,000
広 告 料	0	0	0
支 払 利 息	0	0	0
租 税 公 課	35,300	360,100	△ 324,800
支 払 保 険 料	0	2,000	△ 2,000
雑 費	145,417	147,605	△ 2,188
② 管理費	9,364,255	15,857,314	△ 6,493,059
給 料 手 当	5,490,877	10,882,013	△ 5,391,136
福 利 厚 生 費	857,155	1,780,252	△ 923,097
賃 金 掛 金	132,300	40,320	91,980
退 職 金 掛 金	156,000	288,000	△ 132,000
退 職 金	86,820	0	86,820
旅 費 交 通 費	49,190	4,020	45,170
通 信 運 搬 費	347,208	286,066	61,142
消 耗 品 費	411,408	506,024	△ 94,616
印 刷 製 本 費	359,460	344,300	15,160
諸 謝 金	0	11,023	△ 11,023
賃 借 料	1,291,088	1,124,795	166,293
支 払 手 数 料	0	402,500	△ 402,500
広 告 料	0	0	0
支 払 利 息	35,719	18,615	17,104
租 税 公 課	6,000	38,400	△ 32,400
雑 費	141,030	130,986	10,044
公 益 目 的 事 業 費 振 替 額	0	0	0
経常費用計	11,768,084	20,242,381	△ 8,474,297
当期経常増減額	585,644	△ 1,439,449	2,025,093
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
徴収不能会費	0	180,000	△ 180,000
経常外費用計	0	180,000	△ 180,000
当期経常外増減額	0	△ 180,000	180,000
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	585,644	△ 1,619,449	2,205,093
他会計振替額	0	0	0
一般正味財産期首残高	15,692,352	17,311,801	△ 1,619,449
一般正味財産期末残高	16,277,996	15,692,352	585,644
III 正味財産期末残高	16,277,996	15,692,352	585,644

正味財産増減計算内訳書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産利息収入	9,852	0	9,851	19,703
② 特定資産運用益				
特定資産利息収入	1,325	0	0	1,325
③ 受取入会金				
入会金	255,000	0	255,000	510,000
④ 受取会費	4,807,125	0	4,807,125	9,614,250
正会員	4,107,125	0	4,107,125	8,214,250
10,000円×27会員	135,000	0	135,000	270,000
30,000円×40会員	600,000	0	600,000	1,200,000
55,000円×11会員	302,500	0	302,500	605,000
80,000円×32会員	1,280,000	0	1,280,000	2,560,000
105,000円×12会員	630,000	0	630,000	1,260,000
130,000円×5会員	325,000	0	325,000	650,000
155,000円×7会員	542,500	0	542,500	1,085,000
新規会員×26会員	292,125	0	292,125	584,250
計160会員				
賛助会員会費	700,000	0	700,000	1,400,000
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000
200,000円×2会員	200,000	0	200,000	400,000
計12会員				
⑤ 受取補助金	200,000	0	0	200,000
令和7年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000
⑥ 受取負担金	0	0	711,500	711,500
総会懇談会負担金	0	0	357,500	357,500
新年大会懇談会負担金	0	0	354,000	354,000
⑦ 受取寄附金	0	0	1,000,000	1,000,000
カクイ株式会社	0	0	1,000,000	1,000,000
	0	0	0	0
	0	0	0	0
⑧ 雑収益	176,226	0	120,724	296,950
経常収益計	5,449,528	0	6,904,200	12,353,728

正味財産増減計算内訳書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
(2) 経常費用				
① 事業費	275,987	0	2,127,842	2,403,829
給料手当	0		0	0
賃金	0		0	0
福利厚生費	0		0	0
表彰費	19,800		0	19,800
委託費	0		0	0
旅費交通費	132,830		99,480	232,310
通信運搬費	1,080		215,361	216,441
消耗品費	0		1,320	1,320
印刷製本費	18,830		0	18,830
会議費	92,747		852,014	944,761
諸謝金	0		60,000	60,000
賃借料	0		505,650	505,650
支払負担金	0		224,000	224,000
支払利息	0		0	0
租税公課	7,400		27,900	35,300
支払保険料	0		0	0
雑費	3,300		142,117	145,417
② 管理費	7,007,292	0	2,356,963	9,364,255
給料手当	4,392,700		1,098,177	5,490,877
福利厚生費	514,291		342,864	857,155
賃金	105,840		26,460	132,300
退職金掛金	93,600		62,400	156,000
退職金	52,092		34,728	86,820
旅費交通費	34,433		14,757	49,190
通信運搬費	243,045		104,163	347,208
消耗品費	287,986		123,422	411,408
印刷製本費	251,622		107,838	359,460
諸謝金	0		0	0
賃借料	903,761		387,327	1,291,088
支払手数料	0		0	0
支払利息	25,003		10,716	35,719
租税公課	4,200		1,800	6,000
雑費	98,719		42,311	141,030
公益目的事業費振替額				0
経常費用計	7,283,279	0	4,484,805	11,768,084
当期経常増減額	△1,833,751	0	2,419,395	585,644
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△1,833,751	0	2,419,395	585,644
他会計振替額				0
一般正味財産期首残高	11,322,115		4,370,237	15,692,352
一般正味財産期末残高	9,488,364	0	6,789,632	16,277,996
Ⅲ 正味財産期末残高	9,488,364	0	6,789,632	16,277,996

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	9,760,000	510,000	0	10,270,000
小計	9,760,000	510,000	0	10,270,000
特定資産				
部会・プラザ等活動活性化促進資産	677,849	1,325	679,174	0
小計	677,849	1,325	679,174	0
合計	10,437,849	511,325	679,174	10,270,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,270,000	(0)	(10,270,000)	—
合計	10,270,000	(0)	(10,270,000)	—

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
合計	135,975	135,974	1	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
令和7年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
合計		0	200,000	200,000	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載
2. 引当金の明細
引当金なし

(4)

財産目録
令和8年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
現金預金		鹿児島銀行本店No. 1350394	運転資金	4,061,979
		鹿児島銀行本店No. 3087965	運転資金	7,444
		南日本銀行本店No. 484160	運転資金	1,177,635
		鹿児島銀行 本店 No. 1681505	運転資金	151
		鹿児島銀行本店 No. 3170092		580,544
			小計	5,827,753
未収金	受取会費	令和6・7年度会費		112,500
	受取入会金	令和7年度入会金		30,000
	福利厚生費	R7年度確定労働保険料差額		94,081
	福利厚生費	R7年度確定労働保険料差額		0
			小計	236,581
	他会計貸付金		小計	0
流動資産合計				6,064,334
基本財産	定期預金	鹿児島銀行 本店① 4185527	公益目的及び管理目的としての 共有財産 鹿児島①公益目的75.9%/管理目的24.1% 鹿児島②・相信 公益目的82.2%/管理目的17.8%	4,270,000
		鹿児島銀行 本店② 4138426		3,000,000
		鹿児島相互信用金庫 本店 1646508		3,000,000
				0
			小計	10,270,000
				0
その他固定資産	什器備品	プロジェクター 1 台	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的83% ・管理目的17%	1
	電話加入権	099-225-8012 他 4 回線		72,800
			小計	72,801
固定資産合計				10,342,801
資産の部 合計				16,407,135
短期借入金	鹿児島銀行	運転資金借入		0
未払金	3月分社会保険料	健康保険・厚生年金・子ども手当拠出金		36,924
	消耗品費	(株)久永・ASKUL		10,407
	通信運搬費	インターネット使用料、ゆうメール料金		33,348
				0
			小計	80,679
他会計借入金	他会計借入金		小計	0
預り金	預り金	3月分社会保険料	職員分預り	36,060
				0
				0
			小計	36,060
未払消費税等	鹿児島税務署	R7年度消費税及び地方消費税		12,400
他会計振替				0
他会計振替 (繰越残高調整)				0
流動負債合計				129,139
固定負債合計				0
負債の部 合計				129,139
正味財産額				16,277,996
負債及び正味財産合計				16,407,135

監 査 報 告 書

令和8年4月20日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部

会長 岩 元 正 孝 殿

監事 餅田 淳一 

監事 森 直樹 

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

【第2号議案】 役員の改選について（案）

理事の選任

（新）

水 本 浩 二	(株)アーキ・プラン 代表取締役社長
四 元 重 美	NPO 法人 マンガプロジェクト鹿児島 理事長

（継続）

岩 元 正 孝	カクイ(株) 代表取締役
横 山 勝 一	大協(株) 代表取締役
弓 場 秋 信	弓場貿易(株) 代表取締役
本 坊 一 浩	(株)サナス 代表取締役社長
上田平重樹	インターマン(株) 代表取締役社長
水 口 毅	ウェイク・アップシステム 代表
満 石 公 一	(株)栄電社 代表取締役会長
尾 塚 エイ子	(有)尾塚水産 取締役
米 山 高 兆	(公財)鹿児島県移植医療アイバンク推進協会 事務局長
重 田 幸 男	京セラ(株) 鹿児島霧島工場 工場長
脇 野 真 梨 江	(株)クラインベスト 代表取締役
小 谷 俊 明	小谷照明デザイン 代表
神 薗 俊 一	(株)コレクトプラン 代表取締役
坂 元 昭 宏	坂元醸造(株) 代表取締役社長
嶋 原 広 高	(株)システムビジョン 代表取締役
田 中 覚	(株)タナカサトル技術支援 代表取締役
尾 崎 直 樹	(株)トヨタ車体研究所 取締役・常務役員
林 隆 秀	(株)ハヤシエネルギーシステム 代表取締役
東 和 博	東国際特許事務所 所長
寶 來 豊 晴	宝来メデック(株) 代表取締役
板 山 孝 司	(有)マチダ商事 取締役会長
益 留 福 一	マトヤ技研工業(株) 代表取締役
岩 重 昌 勝	(協)ユニカラー 代表理事

監事の選任

(継続)

餅田 淳一	餅田淳一税理士事務所 代表
森 直樹	鹿児島相互信用金庫 業務企画部 部長

(退任)

理事 鮫島 吉廣	国立大学法人鹿児島大学 客員教授
理事 塘 正光	(株)エム・エム・シー 代表取締役社長

[関係条文]

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部定款（抜粋）

（役員の種別及び選任）

第 11 条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 20 人以上 30 人以内

(2) 監事 2 人

2 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

～略～

5 会長、副会長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（役員の任期）

第 13 条 理事及び監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。（略）

2 理事及び監事は、再任されることができる。

【報告事項】 令和8年度事業計画及び収支予算について

1 基本方針

我が国は、本格的な人口減少や危機的な少子化がさらに深刻化し、深刻な人手不足への対応が喫緊の課題となる中、経済安全保障の強化、A Iの急速な進化やG X（グリーントランスフォーメーション）の推進、そして持続的な賃上げの実現など、かつてない大きな変革期の中にある。

また、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成期限である2030年が迫る中、多くの企業がその実現に向けた取組を加速させるとともに、サステナビリティ経営への転換が一層求められている。

工業倶楽部は、製造業の競争力の強化及び本県の基幹産業である農業、水産業との連携や、将来を担う新産業の創出に取り組み、今後も様々な団体との協働を深め、異業種交流を深化させ、パートナーシップによるビジネスチャンスを拡大するために、デジタル技術を活用し、D Xを推進し、大きく変化する経営環境や状況に対応できる企業の成長に貢献することを目指す。

特にA I技術は急速な進化を続けており、生成A Iに加え、自律的にタスクを遂行するA Iエージェントの実用化が進むなど、企業経営への影響はますます拡大している。A Iの活用は業務効率化や生産性向上に不可欠となっていることから、A Iガバナンスやリスク管理の視点も含め、セミナー等で積極的に取り組む必要がある。

また、半導体関連産業については、熊本で量産を本格化させたT S M Cの第二工場の建設進展や、北海道におけるRapidusの動向など、国内半導体産業の再構築が加速しており、本県への波及効果も注視する必要がある。加えて、情報通信関連、環境・新エネルギー、ロボット関連分野への取組に加え、サイバーセキュリティ対策の重要性も増している。

令和6年10月に県林業会館に移転した事務所は新たな活動拠点として定着しており、今後とも近隣の鹿児島県中小企業会館をはじめ、関係機関との連携をさらに深めることとする。

倶楽部の活動の充実の観点から会員企業の確保は必須であり、会員加入促進への取り組みとともに、時代のニーズに即した魅力あるセミナーの開催、また委託事業の活用など財源確保を図ることが重要となっており、これらに一体的に取り組む必要がある。

さらに、国及び県並びに鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内の産業振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開する。

2 主要事業

(活性化事業)

- | | |
|------------------|------------|
| ①公募事業への取組み | 【特命委員会】 |
| ②企業変革力強化に対する提案等 | 〃 |
| ③SDGs に関連する事業の推進 | 〃 |
| ④新規会員の加入促進 | 【総務・広報委員会】 |

(異業種交流事業)

- | | |
|---|---------|
| ①時代を先取りする異業種交流事業の実施 | 【事業委員会】 |
| ・ 企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等の促進による 経営基盤の強化 | |
| ・ 医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等多分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発を促進 | |
| ②県外の工業団体等との交流促進 | 【渉外委員会】 |
| ・ 九州内の工業団体等の交流による情報交換及び連携 | |
| ・ 鹿児島大学、かごしま産業支援センター、県工業技術センター、二水会との連携・ 県外産業界 | |
| 等との交流による会員の事業拡大、資質向上の促進 | |
| ③プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進 | 【事業委員会】 |
| ④農業、林業、水産業と連携した産業育成に向けての研究 | 〃 |
| ⑤IoT や AI などデジタル技術等を活用した新たな事業展開の研究 | 〃 |

(産・学・官連携事業)

- | | |
|--|---------|
| ①鹿大との交流連携の推進 | |
| ・ 企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる事業化の支援、推進 【渉外委員会】 | |
| ・ 「食と健康に関するシンポジウム」の開催 【特命委員会】 | |
| ②産業支援センターとの連携推進 | |
| ③若者就職活動に関するサポート活動の強化 | 【特命委員会】 |
| ・ インターンシップの支援 | |
| ④会員大学教授・名誉教授等による相談対応 | 【渉外委員会】 |

(広報・デザイン開発事業)

- | | |
|--|------------|
| ・ 工業倶楽部のイメージアップ及び知名度拡大 | 【総務・広報委員会】 |
| ・ 県、県議会、マスコミ等との交流推進 | |
| ・ 会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、HP等の活用による事業連携及び会員増強並びに知名度アップ | |

(3-1) 収支予算書 (損益ベース)

正味財産増減予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	33,000	20,000	13,000
② 特定資産運用収入			
特定資産利息収入	0	600	△ 600
③ 受取入会金			
入会金	90,000	150,000	△ 60,000
④ 受取会費	9,910,000	9,640,000	270,000
正会員	8,510,000	8,240,000	270,000
10,000円×34会員	340,000	350,000	△ 10,000
30,000円×47会員(3社獲得目標)	1,410,000	1,410,000	0
55,000円×16会員	880,000	770,000	110,000
80,000円×34会員	2,720,000	2,560,000	160,000
105,000円×13会員	1,365,000	1,260,000	105,000
130,000円×5会員	650,000	650,000	0
155,000円×7会員	1,085,000	1,240,000	△ 155,000
60,000円×1会員	60,000	0	60,000
計157会員			
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金			
令和8年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0
⑥ 受取負担金	700,000	1,050,000	△ 350,000
総会懇談会負担金	350,000	525,000	△ 175,000
新年大会懇談会負担金	350,000	525,000	△ 175,000
⑦ 受取寄付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
⑧ 雑収益	118,000	50,000	68,000
受取利息等収入	118,000	50,000	68,000
0			0
経常収益計	11,051,000	12,110,600	△ 1,059,600

正味財産増減予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
① 事業費	2,550,000	2,270,000	280,000
給料手当	0	0	0
賃金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
表彰費	20,000	35,000	△ 15,000
旅費交通費	206,000	110,000	96,000
通信運搬費	50,000	110,000	△ 60,000
消耗品費	10,000	0	10,000
印刷製本費	50,000	170,000	△ 120,000
会議費	942,000	870,000	72,000
諸謝金	270,000	20,000	250,000
賃借料	529,000	510,000	19,000
支払負担金	284,000	234,000	50,000
広告料	20,000	20,000	0
支払利息	0	36,000	△ 36,000
租税公課	33,000	23,000	10,000
雑費	136,000	132,000	4,000
② 管理費	8,696,000	10,023,000	△ 1,327,000
給料手当	5,480,000	6,392,000	△ 912,000
福利厚生費	660,000	1,070,000	△ 410,000
退職金掛金	144,000	288,000	△ 144,000
退職金	0	0	0
賃金	0	20,000	△ 20,000
旅費交通費	88,000	40,000	48,000
通信運搬費	308,000	313,000	△ 5,000
消耗品費	391,000	350,000	41,000
印刷製本費	370,000	360,000	10,000
会議費	0	0	0
諸謝金	20,000	20,000	0
賃借料	1,101,000	1,060,000	41,000
支払負担金	0	0	0
広告料	0	0	0
支払手数料	0	0	0
租税公課	0	2,000	△ 2,000
雑費	134,000	108,000	26,000
公益目的事業費振替額			
経常費用計	11,246,000	12,293,000	△ 1,047,000
当期経常増減額	△ 195,000	△ 182,400	△ 12,600
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益		0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用		0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△ 195,000	△ 182,400	△ 12,600
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 195,000	△ 182,400	△ 12,600
一般正味財産期首残高	16,277,996	17,311,801	△ 1,033,805
一般正味財産期末残高	16,082,996	17,129,401	△ 1,046,405
Ⅲ 正味財産期末残高	16,082,996	17,129,401	△ 1,046,405

正味財産増減予算内訳書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	16,500	0	16,500	33,000
② 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	0	0	0
③ 受取入会金				
入会金	45,000	0	45,000	90,000
④ 受取会費	4,955,000	0	4,955,000	9,910,000
正会員	4,255,000	0	4,255,000	8,510,000
10,000円×34会員	170,000	0	170,000	340,000
30,000円×47会員(3社獲得目標)	705,000	0	705,000	1,410,000
55,000円×16会員	440,000	0	440,000	880,000
80,000円×34会員	1,360,000	0	1,360,000	2,720,000
105,000円×13会員	682,500	0	682,500	1,365,000
130,000円×5会員	325,000	0	325,000	650,000
155,000円×7会員	542,500	0	542,500	1,085,000
60,000円×1会員	30,000	0	30,000	60,000
計157会員				
賛助会員会費	700,000	0	700,000	1,400,000
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000
200,000円×2会員	200,000	0	200,000	400,000
計12会員				
⑤ 受取補助金				
令和8年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000
⑥ 受取負担金	0	0	700,000	700,000
総会懇談会負担金	0	0	350,000	350,000
新年大会懇談会負担金	0	0	350,000	350,000
⑦ 受取寄付金	0	0	0	0
⑧ 雑収益	39,000	0	79,000	118,000
受取利息等収入	39,000	0	79,000	118,000
経常収益計	5,255,500	0	5,795,500	11,051,000

正味財産増減予算内訳書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
(2) 経常費用				
① 事業費	376,000	0	2,174,000	2,550,000
給 料 手 当	0		0	0
賃 金	0		0	0
表 彰 費	20,000		0	20,000
旅 費 交 通 費	100,000		106,000	206,000
通 信 運 搬 費	50,000		0	50,000
消 耗 品 費	10,000		0	10,000
印 刷 製 本 費	50,000		0	50,000
会 議 費	72,000		870,000	942,000
諸 謝 金	50,000		220,000	270,000
賃 借 料	0		529,000	529,000
支 払 負 担 金	0		284,000	284,000
広 告 料	20,000		0	20,000
支 払 利 息	0		0	0
支 払 手 数 料	0		0	0
租 税 公 課	0		33,000	33,000
雑 費	4,000		132,000	136,000
② 管理費	6,556,000	0	2,140,000	8,696,000
給 料 手 当	4,384,000		1,096,000	5,480,000
福 利 厚 生 費	396,000		264,000	660,000
退 職 金 掛 金	86,000		58,000	144,000
退 職 金	0		0	0
賃 金	0		0	0
旅 費 交 通 費	62,000		26,000	88,000
通 信 運 搬 費	216,000		92,000	308,000
消 耗 品 費	274,000		117,000	391,000
印 刷 製 本 費	259,000		111,000	370,000
会 議 費	0		0	0
諸 謝 金	14,000		6,000	20,000
賃 借 料	771,000		330,000	1,101,000
支 払 負 担 金	0		0	0
広 告 料	0		0	0
支 払 利 息	0		0	0
租 税 公 課	0		0	0
雑 費	94,000		40,000	134,000
公益目的事業費振替額				
経常費用計	6,932,000	0	4,314,000	11,246,000
当期経常増減額	△ 1,676,500	0	1,481,500	△ 195,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△ 1,676,500	0	1,481,500	△ 195,000
他会計振替額	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,676,500		1,481,500	△ 195,000
一般正味財産期首残高	9,488,364		6,789,632	16,277,996
一般正味財産期末残高	7,811,864	0	8,271,132	16,082,996
III 正味財産期末残高	7,811,864	0	8,271,132	16,082,996

◇ 講 演

演 題: 高利益を生み続けるキーエンスの営業スタイルとは

講 師: 株式会社カクシン

取締役 CRO／エバンジェリスト 天野 眞也 氏

(プロフィール)

1992 年 法政大学 卒業

1992 年 株式会社キーエンス 入社

東日本エリアマネージャーや社長直轄の海外戦略事業部などを
歴任

2010 年 株式会社 FA ナビを創業

2011 年 株式会社 FA プロダクツを分社化

2020 年 AMANO SCOPE (YouTube) 開設

2024 年 株式会社カクシン CRO 就任

2025 年 株式会社カクシン 取締役 CRO／エバンジェリスト 就任

(～現在)